

総合統計書の見直しのたたき台（事務局案）

課題

1 国民に対する情報提供の充実の方策について

- (1) 総合統計書の位置付けが不明確
- (2) 社会生活統計指標以外は、データベースの整備がなされていない
- (3) 各統計書の冊子の必要性

2 総合統計書の整合性について

- (1) 各統計書の章の構成及び統計表を掲載している章の見直し
 - ・統計書により章の構成が異なる, また類似した統計表でも統計書により掲載されている章が異なる
 - ・日本の統計は, 日本統計年鑑のダイジェスト版と位置付けているが, 日本の統計にのみ収録している独自の表がある

3 社会・人口統計体系の提供方法等について

見直しのたたき台

1 国民に対する情報提供の充実の方策について（第2回議事）

- (1) 古い年代の総合統計書（紙媒体）を PDF 形式で整備し, 国民に対し情報提供を行う
- (2) 総合統計書に掲載されている全てのデータソースについてデータベースを整備（平成30年に次期政府統計共同利用システム運用開始予定）
- (3) 原則, データベースが整備された総合統計書は, 冊子を廃刊
ただし, 日本統計年鑑, Statistical Handbook of Japan 及び PSI（ポケット統計情報）は引き続き冊子を刊行

2 総合統計書の整合性について

- (1) - 1
日本統計年鑑の章の見直し
- (1) - 2
日本統計年鑑に全国, 社会生活統計指標-都道府県の指標-に都道府県のデータを収録
 - ・各統計書に収録されている都道府県のデータの表数を把握し, そのデータを社会生活統計指標-都道府県の指標-に精査した上で, 移行させる
- (1) - 3
日本の統計は, 引き続き日本統計年鑑のダイジェスト版
 - ・日本統計年鑑には収録されず, 日本の統計にのみ掲載されている統計表の表数を把握し, その統計表を精査した上で, 日本統計年鑑に移行させる

3 社会・人口統計体系の提供方法等について

社会生活統計指標-都道府県の指標-, 統計でみる都道府県のすがた, 統計でみる市区町村のすがたの構成を見直す

- (1) 社会・人口統計体系の冊子の構成変更（3分冊→2分冊）
- (2) 社会・人口統計体系の項目の見直し